

授業概要

チーム医療において、公認心理師として多職種連携(Interprofessional Work: IPW)を実践することが求められている。この多職種連携の実践に必要な医学の基礎知識について講義する。

まず、医学総論として医学と医療やその歴史等を講義する。次に、正常な人体の構造（解剖学）と機能（生理学）について講義する。疾病を理解するためにはまず正常な構造や機能の理解が必要である。そして、心理的支援が必要な疾病を主として疾病について講義する。

授業計画

| | |
|--------|---|
| 第 1 回 | オリエンテーション（授業の目的、進め方、評価方法など） 第 1 部 医学総論、第 1 章 医学と医療 |
| 第 2 回 | 第 1 部 医学総論、第 2 章 医学の歴史 |
| 第 3 回 | 第 1 部 医学総論、第 3 章 EBM と NBM |
| 第 4 回 | 第 2 部 人体の構造と機能、第 4 章 人体の正常構造と機能—解剖学と生理学 |
| 第 5 回 | |
| 第 6 回 | 第 2 部 人体の構造と機能、第 5 章 主要な症候—症候学と診断学 |
| 第 7 回 | 第 2 部 人体の構造と機能、第 6 章 主要な疾病—病理学と疾病学 |
| 第 8 回 | |
| 第 9 回 | 第 3 部 心理的支援が必要な主な疾病、第 7 章 腫瘍臨床とがんが「バ」-ツフ |
| 第 10 回 | |
| 第 10 回 | |
| 第 11 回 | 第 3 部 心理的支援が必要な主な疾病、第 8 章 遺伝性疾患・先天性疾患・遺伝カ「ソ」リツク |
| 第 12 回 | |
| 第 12 回 | 第 3 部 心理的支援が必要な主な疾病、第 9 章 難病 |
| 第 11 回 | |
| 第 13 回 | 第 3 部 心理的支援が必要な主な疾病、第 10 章 後天性免疫不全症候群・臓器移植 |
| 第 12 回 | |
| 第 14 回 | 第 3 部 心理的支援が必要な主な疾病、第 11 章 認知症・脳血管障害 |
| 第 13 回 | |
| 第 15 回 | 第 3 部 心理的支援が必要な主な疾病、第 12 章 糖尿病 |
| 第 14 回 | |
| 第 16 回 | 第 3 部 心理的支援が必要な主な疾病、第 13 章 依存症—「ソ」ル・薬物 |
| 第 15 回 | |
| 第 17 回 | 第 3 部 心理的支援が必要な主な疾病、第 14 章 循環器疾患 |
| 第 16 回 | |
| 第 18 回 | 第 3 部 心理的支援が必要な主な疾病、第 15 章 緩和ガ「フ」、エンド「ソ」ライガ「フ」、グリ「ソ」ガ「フ |
| 第 17 回 | |
| 第 19 回 | 定期試験（またはレポート） |

到達目標

正常な人体の構造と機能を説明できる。
心理的支援が必要な主な疾病について説明できる。

履修上の注意

指定教科書を中心に講義をすすめます。
講義には必ず教科書を持参して下さい。

予習・復習

構造（解剖学）、機能（生理学）、疾病のいずれも学ぶ基礎知識が非常に多いです。講義は膨大な量の内容を時間内で行わなければならないため、授業進度は速いです。必ず予習・復習をして下さい。指定教科書を中心に講義をすすめますので、予習・復習は指定教科書で構いません。

評価方法

期末テスト、出席状況や授業への参加度を総合的に判断して評価を行います。
配点は [学期末試験テスト 90%、授業態度 10%] です。
100 点満点で 60 点以上を合格とします。

テキスト

- ・教科書名：公認心理師の基礎と実践(21) 人体の構造と機能及び疾病
- ・著者名：野島一彦・繁樹算男 監修、斎藤清二 著
- ・出版社名：遠見書房
- ・出版年 (ISBN)：2019 年 9 月 30 日 (ISBN 9784-86616-071-9)
- ・その他：2,800 円+税、A5 判、240 頁、<http://tomishobo.com/catalog/ca071.html>